

平成24年6月22日

各 位

会社名 マネックスグループ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長CEO 松本 大
コード番号 8698(東証第一部)

平成24年6月23日開催の第8回定時株主総会終了後に実施する株主説明会の資料です。

以 上

将来の見通しに関する記述について

本資料には、当社が属する業界および当社についての、現時点における予想、仮定、見込に基づく将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクおよび不確実性の影響を受けます。一般的に、かかる将来見通しに関する記述は、「かもしれない」、「あろう」、「思われる」、「見込まれる」、「想定する」、「予定する」またはその他類似する文言により識別されます。これらの記述は、他の将来見通しに関する記述をさらに前提とする当社の財務状況、業績に関する見込みを含み、戦略を示し、将来予測に関し記述されます。当社の経営成績は、これらの将来見通しに関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果を引き起こす可能性のあるリスク、不確実性その他の事情に影響されます。

2012年6月23日(土)

マネックスグループ株式会社

株主説明会

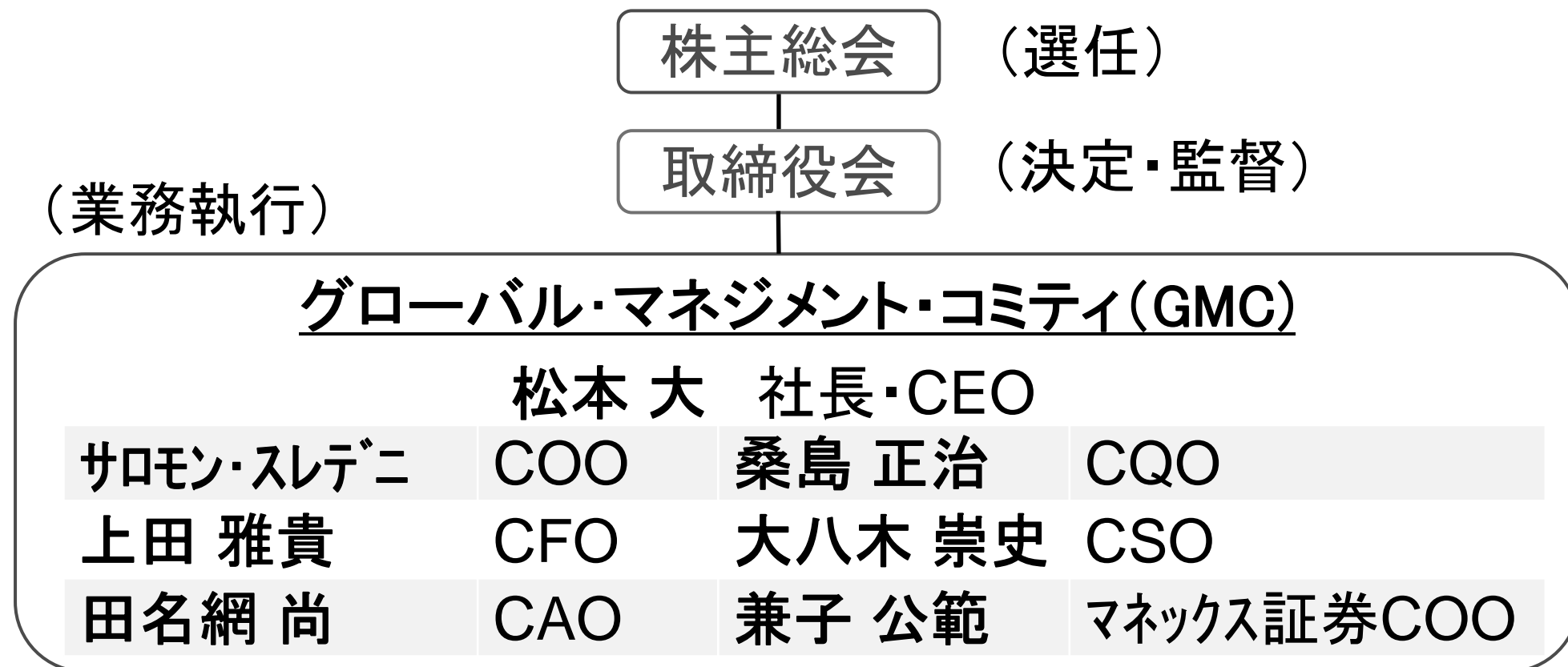
マネックスグループ株式会社

代表取締役会長兼社長CEO

松本 大(まつもと・おおき)



経営体制とガバナンス



当事業年度からの株主還元方針:
 当期純利益(当期利益)30%の配当性向(最低DOE 1%) + 自社株取得

環境認識(1)

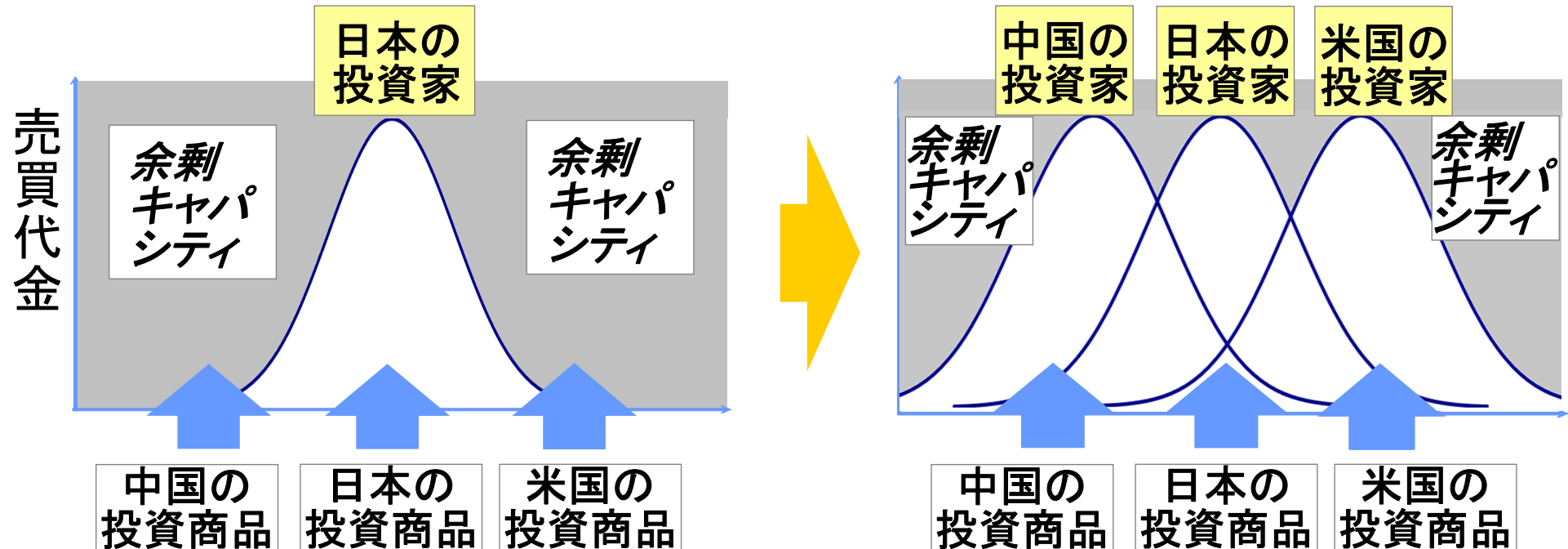
1. 世界的な株式市況の低迷
2. 日本におけるオンライン証券市場の成長鈍化
3. 米国における金利低迷の長期化



各拠点での収益拡大に向けた戦略

環境認識(2)

4. 世界中の商品に対する投資家ニーズの増加



5. 証券取引所および取引ルールグローバル化

→ その解決策としてGlobal Visionを構想

グローバル・ビジョン

1. **世界中の商品をお客さまへ提供し、競争力をつける**
 - 提供する商品サービスを、世界3拠点で共有
2. **コストを抑制**
 - 共有プラットフォームを開発し、冗長なコストを大幅削減
 - システム内製化を進め、システム関連コストを削減
3. **様々な市場・経済状況に対応すべく、多様な投資商品を提供**
4. **B2B2C事業を通じて、新しい需要を喚起**
 - 内製化したシステムを利用し、新たな事業展開を追及

ロードマップ(1)

■システム統合および固定費削減等にかかる施策①

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
グローバルFX	プラットフォーム	「MT4」を日本に導入	TStのプラットフォームを日本に導入	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> MS = マネックス証券 TSt = トレードステーション社 </div>	
	流動性管理	マネックスFX, MS, IBFX(TSt)のカバー取引を統合			
システム関連	米国株	TStのツールをMSで提供			
	日本株	次世代システムへ接続開始	TStのプラットフォームをMSで提供		
	先物OP			TStのプラットフォームをMSで提供	
	次世代	口座、日本株取引を接続		次世代システムへ移行完了	

ロードマップ(2)

■システム統合および固定費削減等にかかる施策②

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
情報の 統合	情報ソースの 統合・一元化	データ・センターの統合		
内製化 その他	MS口座管理 業務の内製化			
	開発拠点を コスタリカに設立			
	本社移転			
	IFRSへ移行			

ロードマップ(3)

■収益拡大にかかる施策①

- ・独自サービス(シグナル配信、取引ツール等)の提供
 - 日・アクティブ層向け手数料体系による他社顧客誘致
 - 本・米国株サービスで国内No.1を目指す
 - ・投信を1,000銘柄に拡充、独自投信の開発・提供
-

- ・料金体系見直し等による新規顧客層の開拓
 - 米・投資教育会社との戦略的提携によるアクティブ層誘致
 - 国・オプション取引層の拡大
 - ・機関投資家ビジネスの推進
-

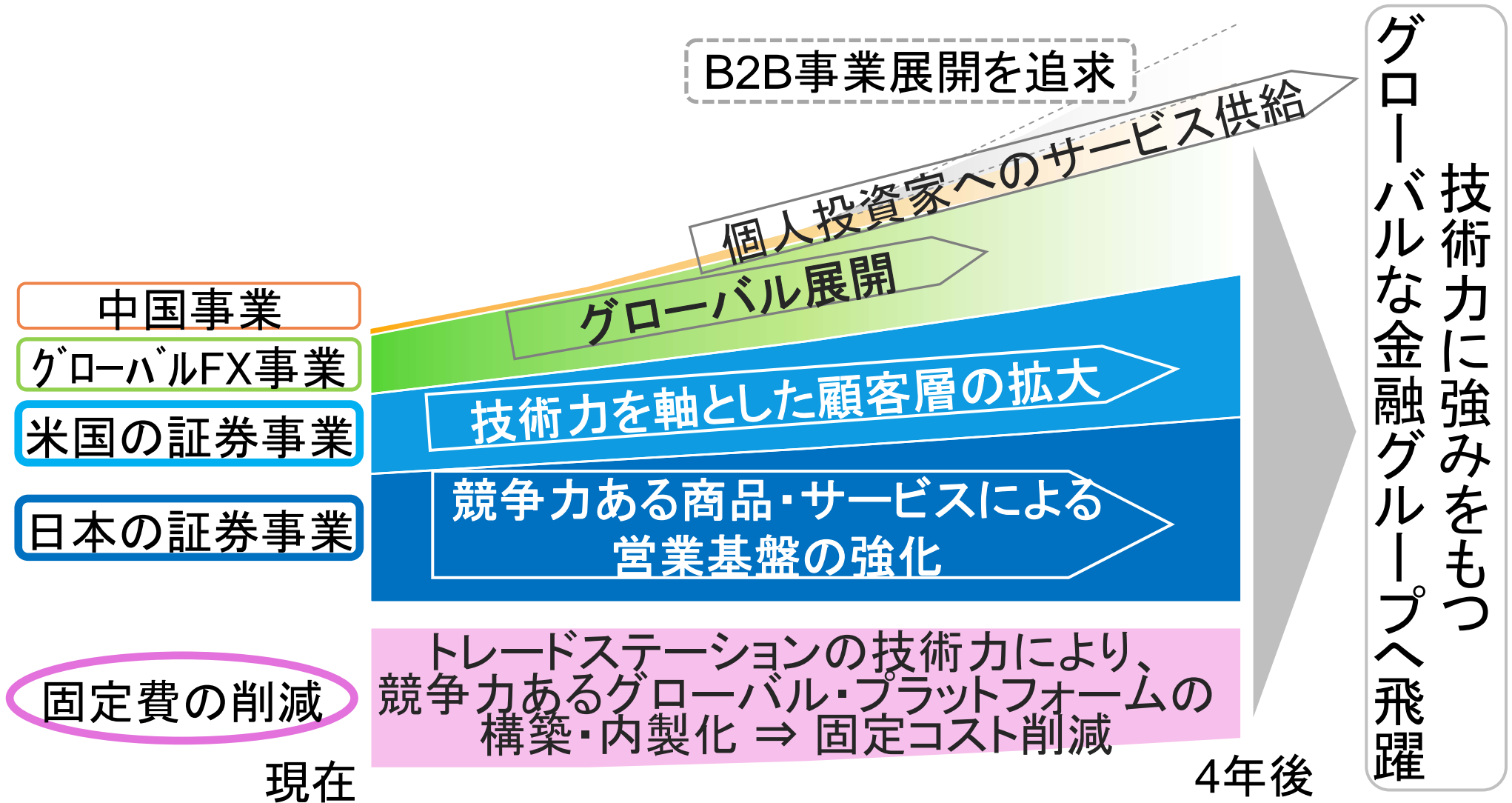
- 中国・戦略的事業提携を含めた個人向け金融ビジネスの追求
-

ロードマップ(4)

■収益拡大にかかる施策②

日本	・アクティブ顧客の獲得・アルゴリズム取引の推進、 ソーシャルトレーディングの推進
米国	・機関投資家ビジネスの開始 ・ソーシャルトレーディングの推進
その他	・ホワイトラベル事業の拡大 ・豪州・カナダ・香港・英国などを拠点としたグローバル 展開推進 ・カバー取引の一元化による収益性向上

グローバル・ビジョンによる戦略と成長性イメージ



一歩先の未来の技術と金融サービスを提供する
グローバルなオンライン金融機関グループを創り上げます